

②アセスメント表

記録：相談支援センターこすもす 相談支援専門員：最上ひかる

相談日時	令和7年10月1日（火） 13時～14時
氏名等	小森 あおい 氏、40歳 女性 知的障害（軽度） 障害支援区分：3 療育手帳：B
望んでいる暮らし	あおいさんの希望 「自分のことは自分でできるようになりたい」 「困った時に相談したい」 「お母さんやお兄ちゃんに会いたい」「お兄ちゃんには迷惑をかけたくない」 「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「SnowManの話ができる友達ができれば最高」 「SnowManに会いたい」  心配（不安なこと） 「他の人と仲良くなれるか」 「掃除や洗濯はあまりしたことがない」 「お金の使い方が分からない」  将来のこと 「まだ分からない」 「今はグループホームとアクション（生活介護事業所）でやっていきたい」
心身の状況	身長 158 cm 体重 68 キロ 2年前に糖尿病の診断を受け薬を飲んでいる。肥満気味なため、自分でも体形を気にしている。
精神面の状況	受け身的な性格で、話しかけられるのを待つことが多い。困りごとがあっても自ら相談することはできない。面倒見の良い人がいると長続きする。自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラする感じが見られる。こだわり出すと次に進むまで時間がかかる。 見た目は大人しそう。特別支援学校高等部の担任の先生は「普段は穏やかに過ごしていた」「集中している時は、周りの声も耳に入らない」と言われていた。
生活の自立度	母があおいさんの身のまわりのことを全てしていたため、一人でできることは少ない。 家事は手先が器用なので練習すればできるようになるのではないかな。やり方や手順について確認する必要がある。
気持ちの自立度	家を離れた暮らしは全く経験したことがないので、始めは戸惑うことがあると思われる。わからないことがあっても自ら相談することが難しく、ストレスを溜めやすいため、職員に早めに伝えられるとよい。

服薬状況	糖尿病の薬が朝・夕あり。時々飲み忘れてしまうことがある。
経済状況	<p>【収入面】 障害基礎年金2級 年816,000円</p> <p>【支出面】 グループホームの費用、生活介護事業所の食費  家賃50,000円(家賃補助10,000円) 食費20,000円 光熱水費13,000円  日用品費3,000円 生活費(おこづかい)20,000円  アクションの昼食代 1日280円</p> <p>金銭管理はできない。金額に見合った金種を出すことが難しく、小銭が使えない。</p>
趣味	SnowManが出ている雑誌やライブDVDを見ること。食べること(特にケーキや甘いものが好み)。手芸。パズル。
キーパーソン	兄。Z市の隣のY市に居住し、妻と共に毎週末母とあおいさんの世話のため実家に来る。あおいさんとの関係性は良い。
家族	<p>母と二人暮らし。父は10年前に死去。</p> <p>兄夫婦は週末に母とあおいさんの面倒を見に実家に来るが、兄夫婦の子ども達とは交流はほとんどない。</p>
作業	<p>高等部卒業後、作業所を利用。作業所では得意の手芸や農作業、外注の箱折作業等に取り組んでいた。手先が器用で興味をもつと集中して行える。面倒見がいい人の話は素直に聞くことができる。わからないことがあっても自ら相談することが難しく、ストレスを溜めやすい。</p> <p>作業所で農作業や外注の箱折作業を行っていたが、あおいさんとしては作業的活動よりも屋内での活動や余暇的活動の方が好きだった、と話す。</p>